

科目名：老年看護学実習Ⅲ (Gerontological Nursing Practice Ⅲ) 履修年次/時期：3年次 通年 授業形態：実習 担当教員： 小浦さい子（実務経験有） 中村仁志（実務経験有） 石川智子（実務経験あり） 石井一義（実務経験有） 石井玲子（実務経験有）		必	2単位 (90時間)
学修目的	老年期にある対象者の発達段階・発達課題、加齢による変化、健康レベルに応じた看護展開を通して、対象者の生活に着目した健康の維持・増進・回復の促進のための看護について理解する。 CP1. 2. 3. 5. 6に関連する。 科目名 KNp-306		
この科目が目的としている DP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1) 生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	○
		(2) 医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1) 教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○
		(2) 専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	◎
		(3) 社会の動向に関心を持ち、学び続ける力を有する。	○
	3. 健康支援を通し、全身の健康を守る看護実践能力を有する。	(1) 多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	○
		(2) 優しさに溢れる看護専門職として地域社会に貢献する能力を有する。	○
(3) 看護専門職としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。		○	
◎： この講義・演習・実習と最も関連がある DP ○： この講義・演習・実習と関連がある DP			
到達目標	①老年期にある対象の持つ看護問題に着目し、個別性のある看護過程が展開できる。 ②立案した計画に基づき看護を実践することができる。 ③老年看護における看護師の役割を理解できる。 ④実習を通して、自己の老年看護観を深めることができる。		
授業概要	老年期にある対象者の発達段階・発達課題、加齢による変化、健康レベルに応じた看護展開を通して、対象者の生活に着目した健康の維持・増進・回復の促進のための看護について理解する。		
授業計画	(実習施設) 国家公務員共済組合横須賀共済病院 日本医療伝道会衣笠病院 聖ヨゼフ病院 三浦市立病院 神奈川県立循環器呼吸器病センター 若草病院 関東病院 (実習期間) ①施設実習： 8日間(8:30~16:00) 405分*8日=3240分=72時間 ②学内実習 540分=12時間 ③実習オリエンテーション 2時間 ④直前オリエンテーション 4時間		

評価方法	<p>老年看護学実習Ⅲの実習評価表の項目を、評価基準に基づいて点数化し、その合計点を最終評価とする。</p> <p>評価に対するフィードバックは必要時、面接にて行う。</p>
教科書	<p>系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学. 北川公子他. 医学書院.</p> <p>系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護 病態・疾患論. 佐々木英忠. 医学書院</p> <p>看護過程実践ガイド 棚橋泰之著</p>
参考書	<p>適宜紹介します。</p>
問い合わせ 連絡先	<p>小浦さい子 実習終了後～18:00 第3号館3階研究室 s.koura@kdu.ac.jp</p> <p>中村仁志 実習終了後～18:00 第3号館3階研究室 h.nakamura@kdu.ac.jp</p> <p>石川智子 実習終了後～18:00 第3号館3階共同研究室 t.ishikawa@kdu.ac.jp</p> <p>石井一義 実習終了後～18:00 第3号館3階共同研究室 k.ishii@kdu.ac.jp</p> <p>石井玲子 実習終了後～18:00 第3号館3階共同研究室 r.ishii@kdu.ac.jp</p> <p>不在時はメールでお願いします。</p>